

大学名	松本歯科大学
講座、分野（教室）名	小児歯科学講座
主任教授	大須賀 直人

講座の特色

松本歯科大学小児歯科学講座は1972年の大学創立と同時に開設されました。当時の日本における小児歯科の社会的認識はまだ浅く、「乳歯虫歯の洪水」と言われた時代でありました。そのような環境下において、小児の口腔健診の重要性や交換期の予防衛生、小児齲蝕と小児全身疾患の関連、不正咬合や顎の発育問題などへの対応を行うべく当講座が開設されました。

そして今日、歯科大学において小児歯科学は重要教科の一つとなり、小児の口腔衛生に対する一般の人々の認識も大きく変化し、長寿への源泉にも連なっています。

近年の小児歯科医療は、「高度経済成長」の時代からオイルショック、バブル崩壊という大きな経済変動や、世界でも例をみないといわれる急速な「少子高齢化社会」の到来など子どもを取り巻く環境の激変に直面しており、それに伴って受診者より求められるニーズにも明らかな変化が生じています。こうした社会的変動は口腔の疾病構造の変遷につながり、急性期医療に関しては相対的減少傾向がみられ、変わって治療を中心とした歯科医療から口腔の健康を維持・増進させることを目的とした予防的歯科医療が強く求められるようになってきました。当講座もそのような大きな底流の変動に柔軟に、そして果敢に立ち向かい、医局員一同が新しい時代のニーズに応えるべく日々研鑽を積んでいます。

診療室の実際

松本歯科大学病院

設備	チェア一数：9台
	個室：1室
スタッフ	受付：1名
	歯科衛生士：4名

※

小児科医の塩原正明先生と大須賀教授が「低ホスファターゼ症 (HPP)」という病気について話した記事が雑誌掲載されました。

monami 2017年7月発行号掲載

ヘルステキア



塩原 正明 先生
松本歯科大学 小児科 教授
松本歯科大学 小児科 主任
1996年 松本歯科大学 歯学部 卒業
1998年 松本歯科大学 歯学部 卒業
2017年 松本歯科大学 歯学部 卒業

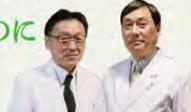


大須賀 直人 先生
松本歯科大学 小児歯科学講座 教授
1970年 松本歯科大学 歯学部 卒業
1971年 松本歯科大学 歯学部 卒業
2011年 松本歯科大学 歯学部 卒業
2017年 松本歯科大学 歯学部 卒業

低ホスファターゼ症 (HPP) という病気かも

4歳にもなっていないのに

乳歯が抜けた!?



まさか、乳歯が早く抜けるのが難病のサインだなんて...。珍しい病気とはいえ、乳幼児期の子どもを持つ親御さんには知ってほしい病気の1つに低ホスファターゼ症 (HPP) があります。『標準からちょっと外れた子どもの成長の謎』に記してあります。この病気の啓蒙に努める小児科と小児歯科の先生方にお話を伺いました。

※ Hypophosphatasia

治療が難しく医師間の連携が重要

低ホスファターゼ症 (HPP) は、乳歯の脱落が早くなるという特徴があります。乳歯が早く抜けることで、永久歯の発育に影響を及ぼす可能性があります。治療には、乳歯の脱落を遅らせるための薬物療法が有効です。しかし、この薬は副作用が強く、医師間の連携が非常に重要です。

「歯のサイン」を見逃さないで

低ホスファターゼ症 (HPP) のサインを見逃さないでください。乳歯が早く抜けるだけでなく、歯の発育が遅れる、歯の痛み、歯の欠けなど、さまざまな症状が現れる可能性があります。これらのサインを見逃さないで、早めに医師に相談してください。



乳歯が抜ける時期と歯の痛み

乳歯が抜ける時期は、通常は5歳から6歳です。しかし、HPPの場合は、乳歯が早く抜けることがあります。これは、歯の根が早く吸収されるためです。また、歯の痛みも、HPPのサインの一つです。歯の痛みは、歯の炎症や感染によるものですが、HPPの場合は、歯の根が早く吸収されることで、歯の痛みが生じる可能性があります。

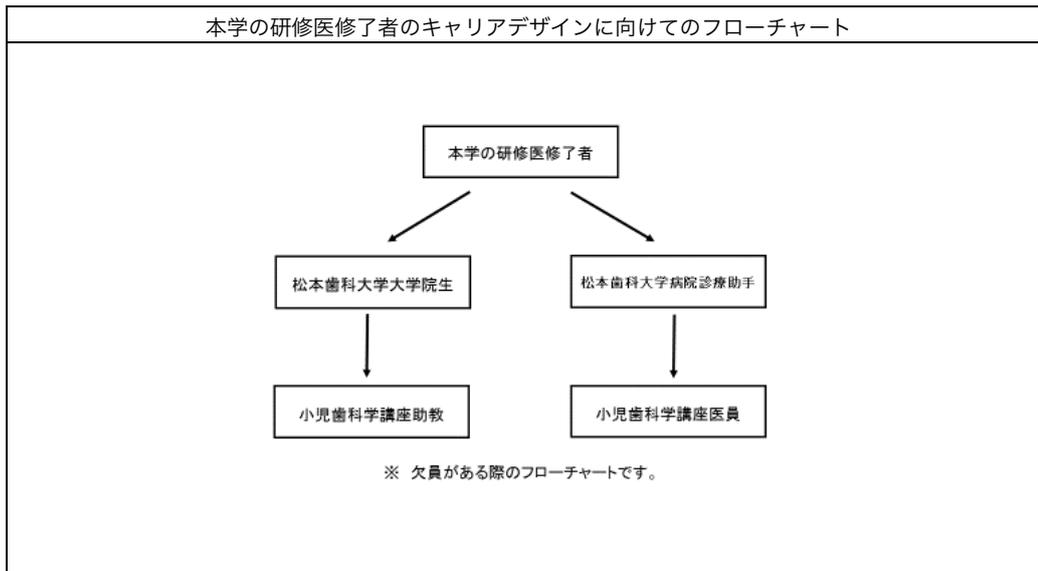
HPPの「歯」のサインを見逃さないで

<p>HPPの歯の症状の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4歳になる前に乳歯が抜けた ● 1本だけでなく複数本抜けた ● 抜けた歯の根が長く残っている 	<p>こんな症状も要チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 発育や成長が遅れている □ 歩き方のバランスが悪い □ 走るジャンプが苦手 □ 長い時間立ってられない □ 骨折しやすい
--	--

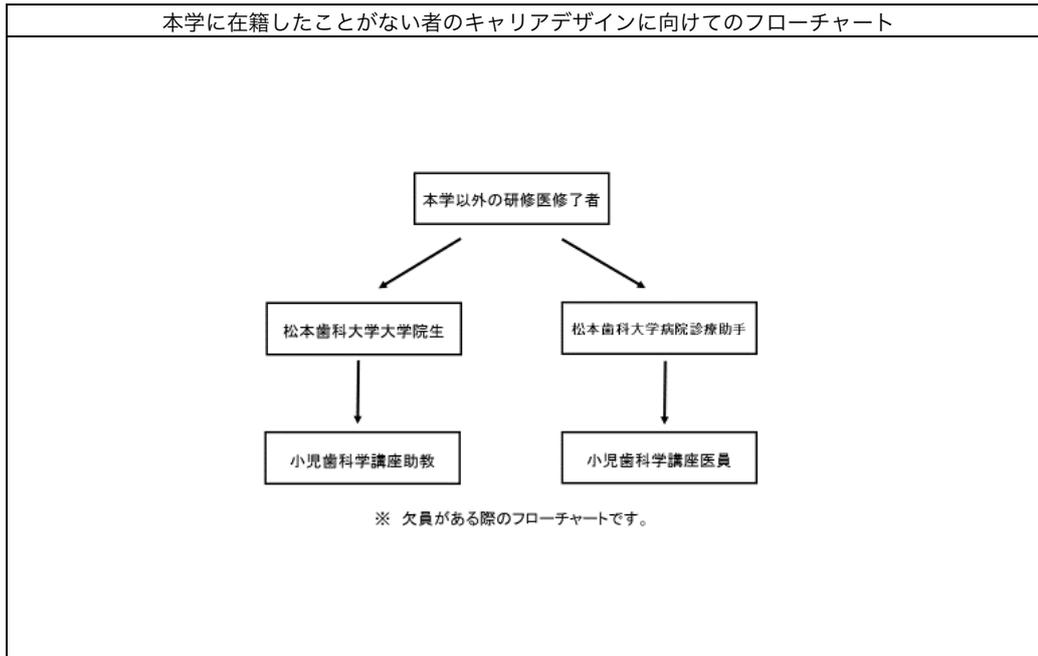
大学名		松本歯科大学	
講座、分野（教室）名		小児歯科学講座	
主任教授		大須賀 直人	
講座医局員研修プログラム責任者		大須賀 直人	
講座医局員研修プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定医等の名称		日本小児歯科学会専門医	
講座医局員研修プログラムの特色			
<p>基本的な小児歯科治療、口腔疾病に対する予防的対応、治療時における小児への歯科的対応法といった基礎的内容は当然の事であるが、大学病院という環境をいかし、多数歯重症齲蝕症例や小帯付着位置異常、埋伏過剰歯などへの全身麻酔下での対応についても知識・技能を修得する事が可能である。</p>			
講座医局員研修プログラムの内容			
大学院生		臨床専門専修科生・研究生・レジデント・医員	
1年目	新人研修 治療計画の立案 齲蝕治療 予防的対応 大学院研究課題のテーマ設定 実験・研究 抄読会	1年目	新人研修 治療計画の立案 齲蝕治療 予防的対応 抄読会 学会発表の指導 必要に応じて実験・研究の指導
2年目	治療計画の立案 齲蝕治療 予防的対応 咬合誘導 簡単な外科処置 実験・研究 抄読会	2年目	齲蝕治療 予防的対応 咬合誘導 簡単な外科処置 抄読会 学会発表の指導 必要に応じて実験・研究の指導
3年目	治療計画の立案 齲蝕治療 予防的対応 咬合誘導 困難な外科処置 実験・研究 抄読会 大学院研究課題の中間発表 学位論文の作成	3年目	治療計画の立案 齲蝕治療 予防的対応 咬合誘導 困難な外科処置 学会発表の指導 必要に応じて実験・研究の指導
4年目	治療計画の立案 齲蝕治療 予防的対応 咬合誘導 困難な外科処置 入院患者様への対応 実験・研究 抄読会 大学院研究課題の最終発表 学位論文の作成	4年目	治療計画の立案 齲蝕治療 予防的対応 咬合誘導 困難な外科処置 入院患者様への対応 学会発表の指導 必要に応じて実験・研究の指導

<p>卒後 1年目</p>	<p>齲蝕治療 予防的対応 咬合誘導 困難な外科処置 入院患者様への対応 全身麻酔下での齲蝕治療 講座内研究への参加 専門医試験への準備 学生指導</p>	<p>5年目</p>	<p>齲蝕治療 予防的対応 咬合誘導 困難な外科処置 入院患者様への対応 全身麻酔下での齲蝕治療 講座内研究への参加 専門医試験への準備</p>
<p>卒後 2年目</p>	<p>齲蝕治療 予防的対応 咬合誘導 困難な外科処置 入院患者様への対応 全身麻酔下での齲蝕治療 全身麻酔下での外科処置 講座内研究への参加 専門医試験への準備 学生指導</p>	<p>6年目</p>	<p>齲蝕治療 予防的対応 咬合誘導 困難な外科処置 入院患者様への対応 全身麻酔下での齲蝕治療 全身麻酔下での外科処置 講座内研究への参加 専門医試験への準備</p>

大学名	松本歯科大学
講座、分野（教室）名	小児歯科学講座
主任教授	大須賀 直人



詳細	
大学院生	臨床専門専修科生
講座への入局希望受付期間：4～10月	講座への入局希望受付期間：4～10月
願書提出時に必要な書類：	願書提出時に必要な書類：
下記までお問い合わせ下さい	下記までお問い合わせ下さい
問い合わせ先：0263-51-2106(松本歯科大学小児歯科学講座直通)	



詳細	
有給職員・レジデント（医員）	大学院生・臨床専門専修科生
講座への入局希望受付期間：4～10月	講座への入局希望受付期間：4～10月
必要な書類：	願書提出時に必要な書類：
下記までお問い合わせ下さい	大学院生：下記までお問い合わせ下さい
面接 あり	臨床専門専修科生：下記までお問い合わせ下さい
問い合わせ先：0263-51-2106(松本歯科大学小児歯科学講座直通)	